

# 抗議声明

## 「はだしのゲン」閉架の解除を求める

松江市教育委員会が、「一部に過激な描写がある」ことから、市内の小中学校に対して、「はだしのゲン」を子どもたちが自由に閲覧できない閉架の措置を取ることを求め、「はだしのゲン」を保有している市内の全小中学校で閉架措置が取られていることが報道された。松江市教委は閉架の理由について、「平和への願いなど、作品に込められた趣旨は高く評価しており、教員が指導して平和学習の教材として使うことには問題はない」としながら、「過激な描写が含まれており、子どもが自由に読むことについては疑問がある」と矛盾した説明を行っている。

「はだしのゲン」は著者、中沢啓治氏の被爆体験をもとに、戦争の愚かさ、核兵器の残虐さとともに、逆境から成長していくゲンのすがたを通して、生命と平和の大切さが描かれた作品であり、いまや世界中に翻訳されて平和教材として普及している。

閉架の根拠とされた中国戦線での日本軍の残虐行為は、中沢さんが目撃した事ではないが、確かな歴史資料をもとに表現されたものである。「はだしのゲン」は単に残虐な核兵器によって被害をこうむった体験記ではなく、戦争そのものを強く批判する作品である。戦争という異常事態の中では、普通の日本人であっても躊躇なく中国人に残虐な行為をしてしまったという事実を描く事で、反戦のメッセージをより強いものにしている。

「はだしのゲン」という悲惨な戦争の実態を題材に、子どもたちに情報を読み解く能力を教え、戦争や原爆の記憶を継承していくことが教育のとるべき行動であり、表現内容も含めた戦争や平和、原爆についての評価が定着している作品を閉架とすることは、子どもたちの教育にかかわる者の行為として理解できない。松江の子どもたちや父母たちの平和を願う気持ちに背くものではないか。

わたしたち被爆地広島 of 医師、歯科医師は、子どもたちが世界平和の担い手として成長していくよう、松江市教委が今回の閉架処置を、一刻もはやく解除することを求める。

2013年8月20日

広島県保険医協会

〒732-0825

広島県広島市南区金屋町2-15-4F

TEL 082-262-5424

当会では、本抗議文を松江市教育委員会へFAXし、閉架の解除を要請しています。